

大子

だいが

目次

令和2年第4回定例会・ 第3回臨時会	2～3
委員会活動報告	4
町と議会とコロナ禍と	5～7
一般質問	8～17
わくわくわたしの夢	18

議会だより



令和2年第4回定例会

令和2年度一般会計補正予算

1億4765万7千円の増額

令和2年度大子町一般会計補正予算（第6号及び第7号）の主なものは別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ128億1646万8千円となります。

また、国民健康保険事業特別会計99万円の増額、介護保険特別会計249万5千円の増額の補正がありました。

水道事業会計については、収益的収支の予算額は4億5686万5千円、資本的支出の補正額は2691万円の増額で、補正後の予算額は3億388万円となります。

一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	△3432万円
地方交付税	320万5千円
町債	1億8020万円

歳 出	補 正 額
議員研修事業費	△225万4千円
奥久慈だいが観光やな解体事業費	2076万4千円
（仮称）袋田防災センター建設事業費	3594万7千円
大子町営研修センター改修事業費	1726万6千円
旧黒沢小学校グラウンド整備工事請負費	1133万円
PCR検査費用補助金	980万円
農作物被害防護柵等設置費補助金	390万円
観光物産館改修事業費	3998万2千円
家庭学習専用通信機器整備事業費	95万7千円
水郡線全線運転再開イベント事業費	320万5千円

第4回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第99号	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例	原案可決
議案第100号	大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第101号	大子町火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第102号	第6次大子町総合計画の基本構想及び基本計画の策定について	原案可決
議案第103号	令和2年度大子町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第104号	令和2年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第105号	令和2年度大子町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第106号	令和2年度大子町水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第107号	令和2年度大子町一般会計補正予算（第7号）	原案可決

令和2年第3回臨時会

令和2年第3回臨時会が11月30日に開催され、町長から提出された議案3件について原案どおり可決されました。

第3回臨時会 提出議案と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第96号	大子町長等の期末手当の臨時特例に関する条例	原案可決
議案第97号	大子町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第98号	令和2年度使用教師用指導書及び特別支援教育用指導用教材の取得について	原案可決

議員のお仕事報告します！

(定例会のほか、常任委員会や調査活動を実施しています)

総務経済委員会

総務経済委員会は令和2年4月から総務委員会と産業建設委員会が統合し、「総務経済委員会」として発足いたしました。統合したことにより活動範囲も広くなり様々な視察調査活動を実施しております。

今年度の委員会活動として新型コロナウイルス感染

拡大による経済支援体制について、5月に制度の学習会を行い、12月にはコロナ禍での事業者の状況や支援制度の利用状況の調査を行いました。また袋田の滝の観瀑台や吊り橋の改修状況、新庁舎建設に伴う進入路の現地解体状況、一昨年の水害で機能を失



新庁舎建設に伴う進入路の現地解体状況視察

った衛生センターの状況調査、国道118号袋田バイパスの進捗よく状況の視察を行いました。その他、委員会に付託された請願等の審査などを行っております。これからも町民の皆様への負託に応えられる委員会として、活動していきたいと考えております。

文教厚生委員会

今年度の文教厚生委員会の活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け大子町内の各小中学校への視察や意見交換等を実施することができず、委員会活動が限定的となっていました。

その様な中ではあります

が、令和2年10月に大子福祉作業所の視察(移転後の施設状況の調査として)、若草共同作業所の視察、社会福祉協議会及び福祉課職員との意見交換、令和2年12月に教育委員会事務局からの小中学校及び幼稚園の状況報告、意見交換を行いました。



移転した大子福祉作業所の視察

委員会として、コロナ禍における各施設の状況や小中学校のICT教育の現状把握に努めてまいりました。今後も、コロナ禍での委員会活動となることが予想されますが、前例にとらわれず柔軟に対応し町民の期待に添える委員会活動をしてまいります。

町と議会とコロナ禍と

令和2年中に開催された議会（定例会及び臨時会）において、町執行部から新型コロナウイルス感染症対策に関するさまざまな事業案が提出され、町議会は補正予算や条例の改正等についてすべて承認しました。

また、内閣総理大臣、衆参両院議長及び関連する大臣に対する意見書の提出や町への要望、研修費用の削減申し入れなどの議会活動をおこなってきました。

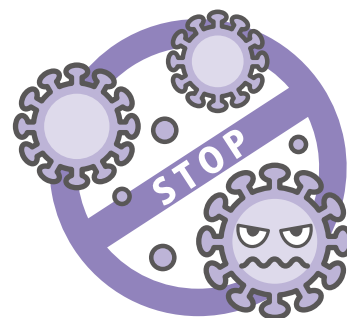
これまでに新型コロナウイルス感染症の対策を次のとおり実施しました。

○新型コロナウイルス感染症対策のために必要となった（補正）予算

- ・総額 23億7982万6千円

○歳入の内訳

国庫支出金総額		22億1533万8千円
うち	地方創生臨時交付金 ※	5億529万9千円
	その他の補助金等	17億1003万9千円
県支出金		535万円
その他		1442万2千円
一般財源		1億4469万6千円



○総事業数

- ・88事業

○主な事業内容

- ・特別定額給付金事業
- ・子育て世代への臨時特別給付金事業
- ・ふるさと応援便事業
- ・中小企業者事業継続緊急支援金事業
- ・ホテル旅館業・飲食店等事業継続応援支援金事業
- ・小中学校感染症対策事業
- ・新型コロナウイルス感染症対応医療・福祉施設関係従事者支援事業ほか



※ 地方創生臨時交付金とは

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響をうけている地域経済や住民生活を支援し、地域創生（各地域がそれぞれの特徴を活かして、魅力ある社会を作り出すこと）を図るために、国から地方自治体へ支給されるお金のことです。

○新型コロナウイルス感染症対策に伴う条例改正

5件（専決処分含む）

○一般質問（新型コロナウイルス関連）

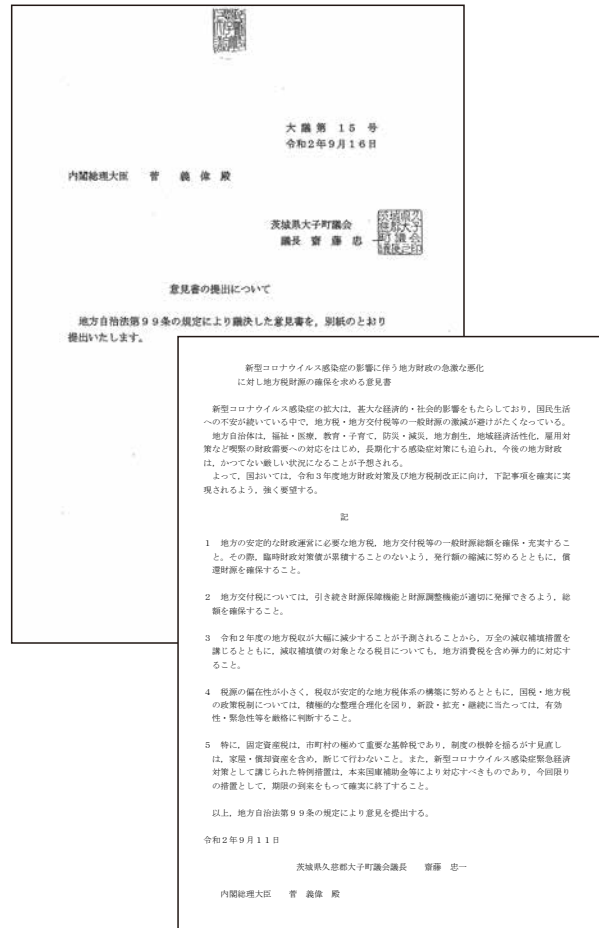
- ・第1回定例会から第4回定例会までの質問者（延べ人数） 17人
- ・質問事項 29件

○意見書の提出

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書」を次のとおり提出しました。

令和2年9月11日可決

- ・衆議院議長
- ・参議院議長
- ・内閣総理大臣
- ・財務大臣
- ・総務大臣
- ・厚生労働大臣
- ・経済産業大臣
- ・内閣官房長官
- ・経済再生担当大臣
- ・まち・ひと・しごと創生担当大臣



○議会開会時の主な感染防止対策

- ・議員間の距離を確保するために4人掛けの席を3人で使用しました。
- ・本会議の執行部の議場出席者は、三役（町長、副町長、教育長）及び総務課長と答弁予定者として、答弁予定のない課長等は控室待機としました。
- ・第2回定例会、第2回臨時会及び第3回定例会は傍聴者を先着10人に限定して実施しました。第3回臨時会からは、傍聴者を入れずにおこないました（報道関係者を除く。）。

○その他

- ・令和2年5月1日付けで「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を町長に提出しました。
- ・「次亜塩素酸水（エヴァ水）」の配布について、町執行部、各区長理事及び各区長と連携して高齢者世帯へお届けしました。
- ・令和2年10月16日付けで「新型コロナウイルス感染症拡大予防策に関する申入書」を町長に提出し、議会費のうちの議員視察研修予算を削減して感染症対策に活用してもらうための申し入れをおこないました。

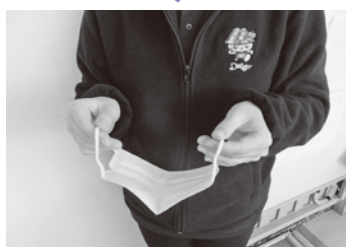
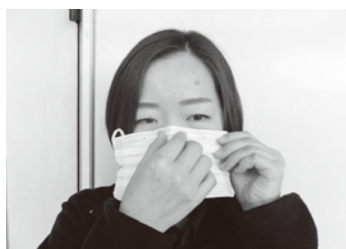
【マスクの付け方を確認してみましょ！】

感染症の予防対策については、すでにお知らせ版や広報だいごでもお知らせしていますが、マスクの付け方について改めて議会だよりでも確認してみましょ！



【マスクを付ける際の注意点】

せっかくマスクをしているのに役に立ってないことがあります。誰もがマスクの正しい知識を身につけておけば安心して接することができますよね！



☑ マスクをつける前には、しっかり手洗いをしましょ！

☑ マスクの上下や裏表を確認しましょ！

- ・マスクの作り方はメーカー（製作会社）によって異なるので、上下や裏表は箱を見て確認してください。箱に記載がない場合は、プリーツ（折りひだ）が下向きになるように装着してください。上向きになるとプリーツの上にウイルスがたまりやすくなります。

☑ 鼻の形に合わせてしっかり装着しましょ！

- ・不織布マスクには「ノーズワイヤー」と呼ばれる針金のようなものがあります。鼻や頬のカーブに合わせてワイヤーを曲げてマスクを付けてください。

☑ ゴムひもを耳にかけ、ノーズワイヤーを片手で押さえながら、あごまで伸ばしましょ！

- ・鼻からあごまでしっかりとカバーしてください。

☑ 一度付けたマスクはむやみやたらに触らないようにしましょ！

☑ マスクはゴムひも部分を持って取り外しましょ！

- ・空気中にウイルスがある場合は、マスクの外側に付着している可能性があります。マスクの外側にはできるだけ触れないようにしてください。

☑ 外したマスクはビニール袋に入れ、口を閉じて捨てましょ！

- ・ポケットやカバンに直接入れると、その部分にウイルスが付着しますのでご注意ください。

厚生労働省のホームページで動画をみることができます。

正しいマスクの着用（動画）⇒



令和2年第4回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

9人の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
今後の公共交通に対する考えは 観光やな事業に対する今後の対応は 大子まちなかビジョン推進協議会について	P.9	金澤 真人 議員
スマートフォンでの広報戦略は	P.10	大森 勝夫 議員
移住促進について現状と方向性は	P.11	川井 正人 議員
コロナ感染症拡大防止の対策を 奥久慈サイクルツーリズムの継続的取組は	P.12	須藤 明 議員
より具体的な感染対策方法の啓蒙を 公共交通実証実験について	P.13	福田 祥江 議員
庁舎跡地の利活用の考えは 町の観光資源を活かしたまちづくりを	P.14	藤田 稔 議員
相談支援体制の今後の改善点は 役場職員に対する軽度認知症障害の対策は	P.15	野内 健一 議員
やな場解体、決断前に検討したことは 住民協働の地域づくりと区長報酬の改定は 民家に近づくイノシシ対策への補助は	P.16	菊池 靖一 議員
町職員へのハラスメント対策は	P.17	菊池 富也 議員

一般質問とは・・・

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針等をたずねます。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をたずねることはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

インターネットで映像配信中!

町議会では、インターネットによる議会中継を配信しています。定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見ることができますので、大子町議会の様子を是非映像でご覧ください。

※一般質問者ページ下部にあるQRコードにより、質問者を検索することができます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから



問 今後の公共交通に対する考えは

答 実証実験を経て見直しを検討する



金澤眞人 議員

【まちづくり課長】実証実験の結果を受けて、公共交通全体を見直すように計画の策定を検討したい。

観光やな事業 に対する今後の 対応は

【金澤】奥久慈大子観光やなは一昨年の洪水により水没した。建物により水没した。建物は解体し土地は返却するということだが、観光施設として人気のあるやなに對する今後の対応は。

【観光工商課長】現在やな周辺は久慈川緊急治水対策プロジェクトの調査検討中であり、その計画の進ちよく状況に應じて計画してい

【金澤】Aータクシーを
証実験中だが、今後の状況と町内の事業者との調整は。
【まちづくり課長】住民や観光客の利便性向上と地域経済の活性化を図り、茨城日産及びNTTドコモの協力のもと実証実験を実施中。町内の交通事業者にAータクシーの運行を依頼している、今後も状況に應じて事業者と協議をしていく。
【金澤】高齢化と人口減少の中で地域の公共交通を根本的に変えていく考えか。



解体が決定した観光やなの建物

【金澤】代替え地の予定など考えているのか。
【町長】堤防の計画など設計中であり、河川の改修や補強の計画がわかった段階で計画を示したい。

大子まちなかビジョン推進協議会について

【金澤】まちなかビジョン推進協議会が立ち上がっているが、概要を伺う。
【まちづくり課長】防災・減災を軸とした総合的なまちづくりを推進する協議団体である。

【金澤】役場跡地や駅前、町内の整備、河川や橋の改修、道の駅の改修工事など事業は多岐にわたるが事業主体はどこか伺う。

【まちづくり課長】町が事務局を担うが、それぞれの事業内容によって事業主体が定まると考えられる。町の費用負担は

【建設課長】台風19号の被害に対して久慈川緊急治水対策が発動しているが、大子市内においては連動して事業が進められる。
【金澤】道の駅の防災機能強化が計画されているが敷地面積が狭い中どのように展開するのか。

【町長】現庁舎跡を第2駐車場という選択肢もあるがまちなかビジョンの協議や町民の意見を聞き、町全体のバランスを見ながら様々な意見を集約して結論を出していきたい。
【その他の質問】黒沢小学校跡のグラウンド整備について

問 スマートフォンでの広報戦略は

答 広報の一元的な運営体制が急務



大森勝夫 議員

積極性に欠ける。そこで、スマホを活用した配信型の広報を強化できないか。スマホは若い世代の利用率が高いので、若年層向けの観光情報や移住情報などの配信による効果が期待できる。町の考えを問う。

【町長】 総務省のデータで、スマホの世帯保有割合は約8割に達している。情報の即時性や拡散性、双方向性といった特性があり、スマホは市政情報を発信するメインツールになるものと考ええる。また、スマホを利用していない方への配慮も必要であり、紙媒体による情報発信の維持や、スマホ講座の開催なども考えている。

【大森】 スマホでの情報発信体系を構築するには、普及率の高いLINEアプリ

を利用し、町の公式アカウントに登録してもらおう手法が現実的と考える。たき丸くんキャラクターのスタンプを製作し、無料配布により登録者を増やせば、スマホによる町の情報発信体系が整う。民間企業や各種ブランドもLINEによる広報に力を入れている。検討できないか。

【まちづくり課長】 町では、若年層向けに、フェイスブックやインスタグラム、ツイッター、ユーチューブ等を活用した情報発信を行っている。LINEアプリについては、地方公共団体がアカウントを所持することが可能となっており、活用も視野に入れて情報発信の充実に努めていく。

【大森】 地方公共団体という立場上、公平性を重視し

なければならず、情報内容の自由度が低い。例えば「おススメの飲食店」といった特化した広報がしづらい。しかし、受け手側は、特化した情報のほうが面白く、拡散されやすい。そのような対応策として、発信内容の編集を外部委託し、管理者を自治体と別にしてはどうか。町が監視役であれば制約も減り、民間型の自由度の高い情報発信ができる。このようなスマホでの情報発信は専門性が高い分野であり、担当部署の検討も必要になるのではないかと。町の考えを問う。

【町長】 町の広報は担当課ごとに行われ、一貫性や統一性に欠け

ていると分析している。町内の情報収集もあわせて、広報の一元的な運営体制の確立が急務と考えている。県内でも広報専門部署を持つ自治体が増加しており、広報を民間委託した成功事例も国内でみかける。町民の収益につながる広報の重要性を認識している。



可能性を高める広報手段を

問 移住促進について現状と方向性は

答 テレワークツアーを開催していく



川井正人 議員

時点で移住者8名5世帯、窓口相談24件でその年代は20代〜30代4名、40代1名、50代4名、60代以上15名、電話相談54件となっている。

【川井】対象者、移住形態（Uターン・孫ターン）どこに注目しているか伺う。

【まちづくり課長】移住対象者は若い世代、現役世代。移住形態は町から一度離れた方が故郷に戻ってくることを念頭に考えている。

【川井】移住相談窓口（ワンストップサービス）の開設を考えているか伺う。

【まちづくり課長】専門窓口の開設はこの先必要性が出るかと考えているが、現在の体制で職員を専門的に配置することは大変難しい状況。人材確保、受け皿となる団体等の確保が課題。

【川井】移住促進関連の現在の補助制度を伺う。

【まちづくり課長】大子町わくわく茨城生活実現事業で東京圏から町内の登録企業へ就職し移住した場合で単身者60万円。夫婦など二人以上の世帯の場合100万円の支援金の交付、空き家バンク制度を利用して移住された方を対象にリフォーム助成金事業として、18歳以下の子供がいる世帯が新築する場合最大200万円の子育て世帯住宅建設助成金の交付を行っている。

【川井】10年後の農業耕作地の状況について伺う。



農地を守るために

【農業委員会事務局長】農地の利用権設定制度を利用し農地を耕作者に集積しているが、現在第一線で活躍している耕作者についても10年後には必ず離れざるを得ない方も出てくるのが想定される。10年後の耕作農地の状況を想定した場合、後継者が少ない状態の中、現在の耕作者が減少することで耕作農地も減少してしまう。このことが最も懸念される部分である。

【川井】大子町の農業後継者不足、耕作放棄地拡大の解決策として、コロナ禍での失業者と就農を結びつける等の方策を考えているか伺う。

【農林課長】農業後継者不足と耕作放棄地対策は大子町としても大きな課題である。担い手対策として農業次世代人材投資事業の中で新規就農者に営農指導及び助成金を交付しており、また、大子町農業後継者応援金を農業者に給付している。新型コロナの影響にかかわらず就農希望があった場合、各種補助事業を有効に活用し農業後継者の確保に努めていく。

【川井】町が県と連携して取り組んでいる、たのしむ茨城テレワーク移住促進事業の現在の進行状況とその反響、また、町が把握している移住者数、相談件数、移住者・相談者の年代とその構成について伺う。

問 コロナ感染症拡大防止の対策を

答 新たなチラシにより周知を図る



須藤 明 議員

の施策を注視しながら必要に応じ検討、実施してまいりたい。

【須藤】 当町においても3人の感染確認（12月8日現在）がされている。これ以上感染者を出さないため、町民の命を守るため町独自の取組みも急務である。今取組むべき対策は何か。

【健康増進課長】 一番重要とされることは町民一人一人に手洗いの励行、マスクの着用、定期的な換気、3密を避けるなどの基本的な感染対策に取り組んでいただき、うつらない、うつさないことに努めていただくことと考えている。

【須藤】 感染症対策をまとめたチラシを作ってはどうか。肌とマスクの隙間を作らないマスクの着用の仕方、手の洗いや、換気の取

り方、3密の避け方など細かい部分の感染防止策のチラシを作って家庭や会社、人の集まる場所に配布し周知を徹底してはどうか。そのことが今できることではないか。また、外食の機会も発生する。感染症対策に非常に効果があると言われるマスク会食の呼びかけをチラシ配布と併せてできないか。

【健康増進課長】 チラシとして挟み込むなどしてさらに目立つような周知なども考えていく。また、事業所などへのチラシ配布、ポスター掲示などにもしっかりと努めたい。マスク会食については、しっかりと注意喚起をしてまいりたい。

奥久慈サイクルツーリズムの継続的取組は

【須藤】 10月8日に奥久慈サイクルステーションが道の駅奥久慈だいでプレオープンをした。この地域に潤いと元気をもたらすためには、情報発信とそれに伴う受入れ体制の整備が必要になってくると思う。町の考えは。

【観光工課長】 奥久慈里山ヒルクライムルート及びレンタサイクルの認知度向上を図るため、有名サイクリストに出演いただいた際の動画作成及びSNSへの配信やサイクル雑誌などの活用をし、PRに努めてまいりたい。

【須藤】 安全で快適な自転車走行の空間を作るためには、サイン表示と案内誘導板の設置の推進が不可欠である。整備計画について



観光客増が期待される奥久慈サイクルツーリズム

はどのように進めていくか。

【観光工課長】 奥久慈里山ヒルクライムルートのご案内等の整備は、県主導で事業が進められている。

【須藤】 サイクリングコースには町道も使用する。なぜ町道整備を考えないのか。

【町長】 次年度の課題にしており、様々な方がいらしたとき、その方々に合ったコースづくりを提案出来るよう計画していきたい。

問 より具体的な感染対策方法の啓蒙を

答 様々な媒体を利用ししっかりと伝えていく



福田祥江 議員

【福田】 役場庁舎内においてどのような感染対策が行われているのか伺う。

【総務課長】 マスクの着用、出入口への消毒液の設置、定期的な換気、カウンターの消毒、デスクパーテーションの設置、サテライトオフィスマたはテレワーク制度の活用、職員の年末年始の休暇取得促進や自己体調管理の徹底に取り組んでいる。

【福田】 定期的な換気ということだが、庁舎は窓が開いている所とそうでない所があるが基準はあるのか、また入口での検温は。

【総務課長】 現在は望ましいような30分に1回という換気の指示はできていない。庁舎入口での検温は県からの外出自粛要請などが出てくるような状況があった場合に役場として対応基準をあげていきたい。

【健康増進課長】 乳幼児から高齢者に個別対応の健康教室等で伝えていこうと思う。抜粹になるとは思うが広報でも周知する。

※トリアージとは現場で振り分けること。

公共交通実証実験について

【福田】 令和2年10月から公共交通実証実験が始まっているが町の負担する費用について伺う。

【まちづくり課長】 観光と夜間Aイタクシー、被災地巡回バス、カーシェアリングは2千万円がトヨタモビリティ基金からの助成で町負担は約300万円、町民

AI乗合タクシーは県の公共交通空白地解消事業費補助金を活用し町の負担は約400万円となっている。

【福田】 当町において広報戦略が課題であると思う。観光客への周知に関しては観光商工課、高齢者には福祉課や包括支援センターと連携するなど横の連携も重要と考えるが町長の考えは。

【町長】 観光地に案内がないと分からない、どこを動いているのか分からないという声がある。実証実験データをしっかりと取って次のステップに移ってきたい。

も期待できる。また観光Aイタクシーとカーシェアリングは、水郡線により当町に訪れた観光客の二次交通となり、観光業の活性化と水郡線の利用促進につながるものと考えている。

【福田】 高齢化や住民減少の状況下の新しい公共交通システムの構築には、既存のバスやタクシー業者の協力を得ながら利便性や効率性が求められるのでしっかりと考えるのでしっかりと実証が行われることを期待する。

【福田】 特に夜間Aイタクシーは飲食店支援の一面もある。将来の町民の移動手段として町の考えは。



観光客の交通手段となるカーシェアリング

問 庁舎跡地の利活用への考えは

答 少し時間をいただいで提案する



藤田 稔 議員

対して久慈川増水情報の提供を依頼している。八溝山周辺地域定住自立圏構想の中でも情報共有をしていきたい。

【藤田】 大子町地域防災計画の進ちよく状況を伺う。

【総務課長】 防災会議は、書面会議を行い表決頂いた。今後も改正作業を継続して、町のホームページ等によりお知らせしたい。

【藤田】 自主防災組織活動、マニユアル配布事業がある。各自自主防災会にどのような活動を求めているのか。

【総務課長】 活動の内容も地域格差があるので、自主防災会の役割、災害時の活動、平常時の活動、地域内の危険地帯の把握、さらに避難行動要支援者への支援、安否確認、避難所の運営、炊き出しの実施など即

応性を活かした活動を期待する。

【藤田】 大子まちなかビジョン推進協議会では、庁舎跡地利活用として、防災拠点化、敷地のかさ上げ、排水処理施設等の整備が提案されている。かさ上げだとさらに水が町内へと考えら

【藤田】 洪水に関する避難勧告等発令基準を伺う。

【総務課長】 水位河川観測所区間に含まれる大字を単位として、水防法に基づき洪水想定区域を対象に避難勧告等を発令している。その他インターネット・気象台サイトにおいての情報収集等で対応している。

【藤田】 福島県や栃木県から洪水時の河川水位情報提供はされてきているのか。

【総務課長】 白河地方広域市町村圏消防本部消防庁に



町内の活性化に結びつく整備を（役場庁舎と湯の里公園）

れる。町長の考えを伺う。

【町長】 国土交通省、茨城県、関係機関において、大子町の被害に対して河川をどうするか話し合いが行われている。住民の安全性が担保された上で町なかの活性化をどうするのか、少し時間を頂いて、皆さんに提案していきたい。

町の観光資源を活かしたまちづくりを

【藤田】 袋田の滝観瀑施設周辺で町独自施策の発信や案内所設置の考えを伺う。

【観光商工課長】 観光情報以外の発信は可能である。案内所設置は考えていない。

【藤田】 旧料金所施設の改修活用はどうか。

【町長】 全体的なバランスを見て判断したい。

【藤田】 新たな町内観光周遊ルートを考えてはどうか。

【町長】 サイクルツーリズムともに連携して次年度に向けて準備を進めたい。

【藤田】 他市町と袋田観瀑施設との共通チケット販売についての考えを伺う。

【観光商工課長】 販売価格の設定、代金の管理、配分、送金問題等ハードルが高い。

【藤田】 恋人の聖地にふさわしい周辺整備を。

【町長】 行政単位だけでは非常に難しいものを感じている。

【藤田】 水辺と親しむ場所や足湯・やな場設置等を含めた湯の里公園周辺の整備について考えを伺う。

【観光商工課長】 久慈川緊急治水対策プロジェクトに基づき計画や大子まちなかビジョン推進協議会等の検討を踏まえて活用方法を見出していきたい。

【藤田】 観光の振興についての町長の考えを伺う。

【町長】 袋田観瀑施設第二デッキ改修、公衆無線LANの環境整備、吊り橋改修、奥久慈サイクルステーション開設等に努めてきた。目標として官民連携や民間の誘致等の展望は持っている。

問 相談支援体制の今後の改善点は

答 サービスそのものの低下を防ぐ



野内健一 議員

を抱えた人が増えている。このような現状のなかで、

大子町の複合的な課題を抱えている方への相談支援体制はどうなっているのか。

【福祉課長】 大子町においては、昨年9月に大子町地域包括ケアシステムネット

ワーク事業実施要綱を定めて、関係機関、地域住民が連携して、町内に在住する

高齢者、障がい者、子ども及び生活困窮者などの要支援者が地域社会から孤立す

ることを防止し、安心して暮らせる体制づくりを推進している。

【野内】 大子町の場合は、複合的な相談への支援体制はすでに構築されているので、あら

ため「断らない相談窓口」を設置

相談窓口」を設置



大子町の「断らない相談窓口」は地域包括支援センターで実施す

する必要がないということではないのか。

【福祉課長】 大子町においては、既存の相談支援体制及び地域包括ケアシステム

ネットワーク事業がある。よってこの部分については、

すでにサービスは充足している。【野内】 「参加支援」「地域

づくり支援」「伴走支援」「訪問型支援」のサービスについてはどうか。

【福祉課長】 参加支援ほか3つのサービスについても、すでに地域包括ケアシ

ムで対応できるので、改めて実施することではなく、今実施している形を進めていくということになる。

【野内】 町長として今の課長答弁で、安心したということだと思うが、足りていない部分があるか。

【町長】 今後も安定的に継続していかなければと思っ

ている。強いて言えば、さらに充実していくためには、

十分な人員の配置が必要ではあるが、その数には限界

値があり、限られたメンバーで頑張ってもらわなければ

ならないが、サービスそのものが低下しないよう努

めていくべきものと思う。

【野内】 認知機能の低下がみられるが、日常生活に困難をきたす程度ではなく、

さらにうつ病やその他の精神疾患でないものが、軽度

いる。このような病状をそのまま何もしないしていると、認知症を発症する確率がたいへん高いとされている。本人は、通常の状態ではないと認識しているが、同僚

や家族にさえも隠してしま

う方がたいへん多い。特に就業している人は、軽度であ

れ認知症の状態が知れると、就業がストップしてしま

うことを心配する。早期の治療は、認知症の発生を

止めることが可能だと聞く。役場に勤務している職員から、

軽度の認知症についての申し出があった場合、どのような改善策をとるのか。

【総務課長】 職場でそういった状況をどのようにフォローしていくかということ

は、非常に大事なことだと思う。体調が悪いとか、欠勤が続くといった体調の変化を繰り返しているような

問 やな場解体、決断前に検討したことは

答 治水対策計画策定後になる



菊池靖一 議員

解体するのはもったいない。解体に要する費用の半分を改修費用の補助金として、経営を民間公募するということを考えられないか。

【町長】 選択肢の一つとして有効だと思うが、また、経営が立ち行かなくなった場合に、同じようなことが起こる可能性もあるので、

今費用を投じて建物を解体して、一回ゼロに戻したうえで、アユの事業は継続していく。

住民協働の地域づくりと区長報酬の改定は

【菊池】 ボランティア活動や地域の共同作業など、住民協働の事業は沢山行われているが、中心になつて

いるのは団塊の世代と言われる人たちである。歳を重ねるごとにこの人たちの活動にも限界が出てくるが、このような将来を見据えて考えていることは。

【町長】 高齢化や住民の価値観さらにはライフスタイルの変化によって、地域におけるつながりが希薄化し、支え合いを含めた地域の

力の低下が顕在化していることを心配している。しかし、すべてを行政でカバーするのは限界がある。近い将来には、ばらつきのある地域のエリアも考えていかなければならないと感じている。

【菊池】 地域づくりは、みんな協力し合うということが大事である。本当に困っている地域を地域の枠を超えて手助けする組織づくりをすれば、これからの社会に対応できるのではないかと考えるがどうか。

【町長】 進む方向の考えは同じなので、地域にある様々な課題を一度整理して、素案づくりに関しては努力課題にしていきたい。

【菊池】 行政区長の成り手不足が懸念されるが、業務に対する報酬の低さもあるのではないか。報酬を上げれば全て解決するとは考えていないが、改定について考えは。

【総務課長】 県内で区長制を採用している市町村の平

均額でみると、大子町は高い状況なので、報酬の見直しは考えていないが、行政から区長への依頼業務や充て職としてお願いしている職などについて実態調査を行ったうえで業務の見直しを行い負担の軽減に取り組みを考えている。

民家に近づくイノシシ対策への補助は

【菊池】 山間部では、家の周りにイノシシが出没して庭を荒らす被害も出てきている。今後は人的被害が起る可能性もある。農作物対策には補助制度があるが、家の周囲にも防護柵を設置することに對し、町独自の補助ができないか。

【農林課長】 今年になって、通学路にイノシシが出没するという相談があり、危険防止策ということで防護柵を設置した。これからも関係機関と連携をしながら設置を進めていきたい。

【菊池】 観光やなの建物を解体するという最終決断をする前に、やなの活用も含めてどのような検討をしたのか。

【観光商工課長】 組合解散後のやな事業については、町で引き継いでいきたいが、久慈川緊急治水対策プロジェクトが進められているので活用を検討するのは、治水対策計画策定後になる。

【菊池】 被災したとはいえ、しっかりしている建物を



長い歴史を閉じる観光やな場

問 町職員へのハラスメント対策は

答 全ての職員に対し、指導する



菊池富也 議員

をできない。

【町長】 段階を踏んで努力を続ける必要がある。

【菊池】 職員の資質向上や接遇に関して、研修や研鑽は実施しているか。

【町長】 町職員の民間企業等派遣研修は、実施できなかったが、自治研修所への派遣は実施した。

【菊池】 休職している職員や辞職した職員が増えている。職場でハラスメントがあるのではないか。

【総務課長】 調査したことはない。

【菊池】 部下に対する威圧的な態度だけでなく、町内の業者の中には廃業を余儀なくされたり、営業妨害にも似た行為をされたり、改築までさせられた方がいる。指導できる立場とはいえ、町民の皆さ

んを苦しめたりおとしめることは許されない。相手に寄り添い、相手の立場になって考えるのが公務員である。町長の考えは。

【町長】 役場の職員を指導する責任者であるので、今後も全ての職員に対して指導していく。

その他

農地政策の内容と現状は。林業の支援策は。

【菊池】 町長のマニフェストの一つに、高齢者の健康増進と移動手段の確保がある。このコロナ禍の中でどのように進めているのか。

【健康増進課長】 まいんや各地区において、7月から23回の健康教室を開催。また、サバの缶詰を高齢者に配布した。その他、介護予防出前講座、体操教室等を実施し、健康増進を図っている。

【菊池】 移動手段の確保に対する施策は。

【福祉課長】 タクシー利用助成事業、町民無料バス運行事業、町内医療機関が利用者の送迎を行う障がい者等通院送迎サービス事業補助を実施している。

【菊池】 通院送迎サービス事業には、年間数千円を補助しているが、病院等の対応に差はないか。

【福祉課長】 障がい者、高齢者を対象に5病院が実施し、延べ1万人以上が利用している。

【菊池】 A-1タクシーの実証実験をしているが、他の市町村の状況は。

【まちづくり課長】 県内で何市町村が実施しているかわからない。

【菊池】 全国では、実証実験後、導入した市町村もあるが、導入どころか中止にした市町村もある。導入経

費や維持費はどれくらいか。

【まちづくり課長】 維持費は、年間約1800万円。

【菊池】 広大な面積の大字町では停留所やNTT基地局が多数必要になる。また、停留所から離れている利用者は、自宅に着くまでの不安や相乗りによる遠回りの不安等、スマホやインターネット利用による申込を基本としていることなどを考えると導入には賛成できない。次に、八溝山の眺望の改善について伺う。何年も前から何人もの議員が質問しているが、林野庁や自然保護団体との交渉は実施したのか。

【観光商工課長】 今年度の交渉は実施していない。町は地権者でも樹木の所有者でもないので許可なく事業



高齢者のための健康教室

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



大子西中学校3年

いおか かねと
飯岡 兼人さん

楽しかった中学生生活も残り三ヶ月となりました。今まで共に過ごした仲間たちと離れてしまうことに寂しさを感じますが、今の私は春からの高校生活に期待を膨らませています。私は将来、ものづくりに関わる仕事に就きたいと考えています。小学校の頃からもの

づくりに興味があり、夢に向けて努力し続けてきました。その努力が報われ、来年は工業専門の高校に入学します。高校では学業に専念し、専門的な知識と技術を身につける決意です。自分の携わった製品で人々の暮らしをより良くしていきたいです。そのため、自分の専門的な知識を生かし、社会の即戦力となり働けるようなものづくりのプロジェクトを目指して頑張ります。

FM放送のお知らせ



町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。

3月定例会開催予定

- ▽3日(水) 開会
- ▽4日(木) ～7日(日) 自宅審議
- ▽8日(月) 一般質問
- ▽9日(火) 一般質問
- ▽10日(水) 一般質問
- ▽11日(木) ～12日(金) 予算・決算委員会
- ▽13日(土) ～14日(日) 自宅審議
- ▽15日(月) 逐条審議 閉会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会 広報委員会

- 委員長 須藤 明
- 副委員長 福田 祥江
- 委員 川井 正人
- 委員 飯村 剛
- 委員 齋藤 忠一
- 委員 金澤 真人

あとがき

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束が見えない中、第3波の感染爆発を受け、令和3年1月7日2回目の緊急事態宣言が、1都3県に発令されました。日本全体で感染拡大防止に全力で取り組んでいる状況です。大子町も感染拡大の防止を最優先し、町政を執りおこなっております。議会としては、前例にとらわれず感染拡大の防止に町執行部と力を合わせ、町民の安心安全を守ることに全力をそそぐべきと考えております。また、コロナ収束後を見据えた、議会の役割も重要です。町民の期待と信頼にこたえられる議会運営に努めてまいります。

(川井正人)